

中学校第2学年 道徳科 学習構想案（例）

日 時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時
場 所 2年〇組教室
指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	新しいものを生み出すために（内容項目A（5）真理の探究、創造）	
ねらいと教材	(1) ねらい 新しいものを生み出すために探究を続ける松永重児の思いを考える活動を通して、真理を探究して新しいものを生み出すために努力しようとする実践意欲と態度を育てる。 (2) 教材名 名弓肥後三郎 出典：「熊本の心 中学校（熊本県教育委員会）」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	探究を続ける松永重児の気持ちに触れ、真理を探究して新しいものを生み出すために大切なことや、その良さついて、多面的・多角的に考えている。	真理を探究して新しいものを生み出そうとすることについて、自分との関わりの中で考えている。
目指す生徒の姿		
真理を探究して、新しいものを生み出すために努力をしようとする生徒（生み出そうとする生徒）		
主題に迫る学習課題（めあて）【本時】		本主題で働かせる見方・考え方
○新しいものを生み出すために、どんな心や姿勢が大切なのだろう。		真理を探究して新しいものを生み出そうとすることについて多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えを深めること。
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
総合的な学習の時間・学校行事	道徳科	日常生活等
<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会 ・職場体験学習 ・文化祭 ・合唱コンクール ・生徒会役員改選選挙 ・立志式 	「名弓肥後三郎」（本時） A（5）真理の探究、創造 主題名 新しいものを生み出すために 新しいものを生み出すために探究を続ける松永重児の気持ちを考える活動を通して、真理を探究して新しいものを生み出すために努力しようとする実践意欲と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活目標に向けた取組・振り返り ・毎日の学習目標の設定と振り返り ・部活動等での日々の練習 ・大会や競技会での経験
「さよならの写真」 A（4）希望と勇気・克己と強い意志 主題名 強い意志 （出典：「熊本の心 中学校（熊本県教育委員会）」）	「第二の水泳人生-池江璃花子」 A（4）希望と勇気・克己と強い意志 主題名 困難に打ち克つ強い意志 （出典：「中学生の道徳3 あかつき教育図書」）	

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所（ねらいや指導内容についての教師の捉え方）
<p>本主題は、中学校の内容項目A（5）「真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること」を基にしたものである。</p> <p>今日の社会は、学術研究や科学研究の発展に支えられている。新しいものを生み出すことは、容易にできることではない。しかし、中学校生活の中で工夫することの大切さに気付かせることが、自由な発想を育み新しい考えや方法を生み出すことにつながり、積極的に新しい分野を切り開いていこうという意欲を引き出すことになる。この探究の精神は、よりよく生きたいと願う自分自身の未来を創るとともに、よりよい社会を創る原動力となる。</p> <p>指導に当たっては、生徒自身の学習体験を振り返りながら、分からないことを謙虚に受け止めて探究し続け、真理や真実を求めつつ、好奇心をもって意欲的に学び、工夫して新しいものを創造してい</p>

こうとする積極的な態度を育てることが重要である。真実や真理の探究には、広い視野に立って多面的・多角的に見ようとする開かれた心や、結論を鵜呑みにせず論理的・批判的に考える姿勢が必要であることに気付かせたい。さらに、疑問や問いを探究し続けることが、新たな見方や考え方を創造することにつながり、自分の生涯を豊かにすることにつながることを自覚できるようにしたい。

本主題における系統

中学校第1学年

内容項目A(5)(真理の探究, 創造)

真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。

教材名「初めての実験-山中伸弥」

主題名「真理を探究する」

(出典:「中学生の道徳1 あかつき教育図書」)

中学校第2学年

内容項目A(5)(真理の探究, 創造)

真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。

教材名「名弓肥後三郎」

主題名「新しいものを生み出すために」

(出典:熊本の心 中学校)

中学校第3学年

内容項目A(5)(真理の探究, 創造)

真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。

教材名「小浜のさば缶、宇宙へ行く」

主題名「探究して新しいものを生み出す」

(出典:「中学生の道徳3 あかつき教育図書」)

生徒の実態 (生徒の学習状況や実態と教師の願い)

本学級の生徒 (〇人)

■本主題に関する意識の状況 (〇人回答)

- (1) 学習の成果が出ずに、努力を諦めてしまったことはありますか。ある (〇人) ない (〇人)
- (2) 今までの生活でうまくいかないことや、失敗してしまったと感じる経験はありますか。
ある (〇人) ない (〇人)
- (3) 流行やうわさ、SNS等からの情報に対して、真実を確かめなくて信じてしまうことがありますか。ある (〇人) ない (〇人)
- (4) 何かを成し遂げるために努力するとき、「他の見方(努力のしかた)や意見(考え方)を受け入れられない」と感じたことがありますか。ある (〇人) ない (〇人)
- (5) 夢や理想を実現するために、具体的にどんなことをすればよいですか。(自由記述)

【少数意見】

■考察

教材の価値 (使用する教材の特質や具体的な活用方法)

本教材は、弓造りの家庭に生まれた松永重児が、京弓と薩摩弓の特徴を合わせた新しい弓を造りたいという思いをもち、それを追求していくものである。重児は理想の地である芦北町白石村に移り住み、良い材料と卓越した技術で弓造りにのめり込む。2年の歳月を費やして、満足いく作品を造り上げたと思ったが、それは失敗に終わった。そこから自分自身を振り返り、うぬぼれとはやる気持ちが材料と技術を生かしきれないところに気付く。

授業においては、弓造りで達人の域に達している重児が、心を謙虚にして、さらに腕を磨いていく過程を追っていく中で、疑問や問いを探究し続けることが、新たな見方や考え方を創造することにつながり、さらに、自分の生涯を豊かにすることにつながることを生徒が自覚できるようにしたい。

3 指導に当たっての留意点

【導入・終末の工夫】(学習過程の工夫)

- 導入場面では、生徒にとってなじみの少ないことが想像される肥後三郎弓や松永重児について、資料を用いて理解を促す。
- 展開場面では、松永重児の弓造りへの姿勢について意見交流し、大切にしていた思いについて考える。このとき、ワークシートに赤(似ている)、青(思いつかなかった)の2種類のシールを準備し、活動を行う。
- 終末場面では、振り返りが本時の授業や資料の感想にならないように「今まで、今日学んだこと、これから」等の振り返る視点を与えるようにする。

【「考え・議論する」ための発問・板書の工夫】

- 主題に迫る学習課題「新しいものを生み出すために、どんな心や姿勢が大切か」に対する生徒の考えが、「強い意志」や「努力」であることが予想される。真理の探究、創造に授業の軸を置くために、『「強い意志」や「努力」だけで新しいものを生み出せるか』『大声で詩を口ずさんだり、何日も座禅を組んだりすることと弓造りには何の関係があるのか』と生徒に問い返し、主題についてさらに深く考えるためのきっかけとする。

4 本時の学習

(1) ねらい

新しいものを生み出すために探究を続ける松永重児の思いを考える活動を通して、真理を探究して新しいものを生み出すために努力しようとする（生み出そうとする）実践意欲と態度を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 肥後三郎について確認する。 ○肥後三郎や松永重児について知っていますか。</p> <p>2 本時の学習課題を知る。 ○新しいものを生み出すときに何が大切になると思いますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】 新しいものを生み出すために、どんな心や姿勢が大切なのだろう。</p> </div>	<p>○「名弓肥後三郎」の写真等を提示し、教材に対しての興味を高める。</p> <p>○「新しいもの」には何かに挑戦することや、夢や目標に向かうことも含むことを伝える。</p>
展開	30分	<p>3 教材「名弓肥後三郎」を読み、話し合う。 (1) 松永重児の弓造りの姿勢について印象に残ったことや感じたことを伝え合う。 ◇戦争に行っても夢を諦めなかった。 ◇良い弓を造るために努力している。</p> <p>(2) 松永重児が弓造りで大切にしたいことについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【中心発問】 ◎失敗しても、なお弓造りを続けた松永重児はどんなことを思っていたのだろう。</p> <p>◇諦めたくない。 ◇必ず完成させる。 ◇完成するためなら何だってやる。</p> </div> <p>(3) 本時の学習課題について考える。 ○新しいものを生み出すために、どんな心や姿勢が大切なのだろう。 ◇諦めずに努力し続ける心。 ◇失敗しても何度もやり直す強い意志。 ◇自分を信じる強さ。 ◇自分のことを謙虚に見つめる心。</p>	<p>○松永重児の弓をつくるための努力やひたむきさ、志の高さなどをペアで意見交換する。</p> <p>○失敗するまでにも様々な努力や工夫、苦勞を重ねたことを確認して発問に入る。</p> <p>○ワークシートに赤(似ている)青(思いつかなかった)のシールを張り、自由に意見交換を行い、多様な意見に触れ合うようにする。</p> <p>○意見の伝え合いだけでなく、相手に質問することで深い学びへとつなげる。</p> <p>○真理の探究、創造に軸を置くために、『「強い意志や努力」だけで新たなものを生み出せるか』『大声や座禅は弓造りと何の関係があるのか』等と問い返し、主題について深く考えるきっかけにする。</p> <p>○新しいものを生み出すために、大切な心や姿勢について焦点を当てていく。</p>
終末	10分	<p>4 自分自身を振り返る。 (1) 自分自身を見つめる。 ○今日の学習で気付いたこと、新たに考えたことを書いてください。</p> <p>(2) 教師の説話を聞く。 ○「失敗」の捉え方について、トーマス・エジソンの言葉を紹介する。</p>	<p>○事前アンケートを提示する。</p> <p>○「今まで、今日学んだこと、これから」の3つの視点を意識しながら振り返りを書くようにする。</p> <p>○「私は失敗したことがない。ただ、1万通りの、うまく行かない方法を見つけただけだ」という言葉を紹介する。</p>

【評価の視点1】 探究を続ける松永重児の気持ちに触れ、真理を探究して新しいものを生み出すために大切なことや、その良さについて、多面的・多角的に考えている。(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 真理を探究して新しいものを生み出そうとすることについて、自分との関わりの中で考えている。(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】

名弓肥後三郎	
学習課題 新しいものを生み出すために、 どんな心や姿勢が大切なのだろう。	
名弓肥後三郎 肥後三郎と松永重児の写真	○失敗しても,なお弓造りを続けた松永重児はどんなことを思っていたのだろう。 ・諦めたくない。 ・必ず完成させる。 ・完成するためなら何だってやる。
	○新しいものを生み出すために・・・
	努力し続ける力 自分を信じる強さ 謙虚に見つめる心

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等
導入場面【大型提示装置】 ・肥後三郎弓や松永重児に関するPP資料
終末場面【大型提示装置】 ・生徒アンケート結果

